

松山大学法学部学術講演会

演題：丸山眞男の平和論—「三たび平和について」と被爆体験—

講師：中村 研一 先生（北海道大学名誉教授）

講演概要

戦後日本に政治学という学問を創り出し、日本に民主主義を定着させた丸山眞男は、若いころ思想史を志し、江戸時代の大名の政治アドバイザーの政治論に関する論文を書いて東京大学の助教授となったが、召集令状が届き、1944年に二等兵として戦場に駆り出された。戦場で、そして軍隊の中で、丸山は何をみて、何を感じ、何を体験したのか。そして1950年「三たび平和について」を書くに至るのか。我が国を代表する国際政治学者である、中村研一先生をお招きして、共に考えてみたい。この取り組みは、ウクライナやパレスチナで繰り返される蛮行に直面する我々にとり、現況を考える大きな手がかりともなるであろう。

コーディネーター

松山大学法学部教授 遠藤 泰弘



講師：中村 研一 先生の略歴

1948年 神奈川県生まれ

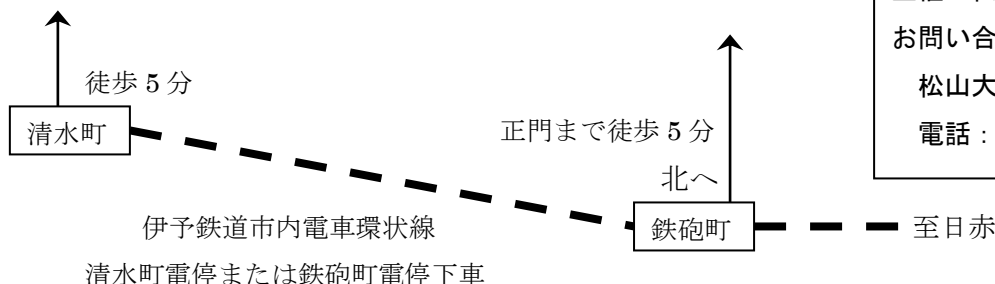
東京大学理学部物理学科卒業、同法学部卒業、東京大学法学部助手、北海道大学法学部助教授・教授、副学長、公共政策大学院院長等歴任
著書—『国際政治から「地球政治」へ』（岩波書店）、『ことばと暴力』（北海道大学出版会）、
訳書—E・H・カー『平和の条件』（岩波書店）
来年刊行予定

日時：2023年 12月 15日(金)

18:00～19:30

入場無料・参加自由

場所：松山大学 8号館 821番教室



主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）